

2021 年度第 6 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2021 年 12 月 22 日 (水) 10:30~11:30

場 所 遠隔会議システムにて実施

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、大島理事、牛山理事、柿澤理事、宮坂理事、船木理事、河嶋監事、柴田監事、(濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

[配付資料]

- 1 2021 年度積立金の運用について (資料 1)
- 2 2022 年度予算 (案) について (資料 2)
- 3 本学ブランド向上に資する DX 推進の状況と今後の推進計画について (資料 3)
- 4 2022 年度学校推薦型選抜実施結果 (資料 4)

[議 事]

1 議題

(1) 2021 年度積立金の資金運用について

濱財務課長から資料 1 をもとに標記の件について、運用対象額から通常現預金予備額を差し引いた 7,000 万円を運用すること、地元金融機関に定期預金の利率等を確認し、最も利率の高かった地元金融機関に期間は 2 年として全額を預入すること等報告があった。

(2) 2022 年度予算 (案) について

濱財務課長から資料 2 をもとに、標記の件について、9 月の理事会で承認された基本方針をもとに予算編成を行ったこと、主な施策として、ローカル 5G 実験設備整備、DX 推進事業の継続、教室 AV の整備、省エネのための構内 LED 化、スワリカブランド創造事業関係研究経費を計上していること、これらの施策と経常的な費用を合わせて約 23 億円の予算となったこと等説明があった。

これに対して柴田監事から人件費について、教員が 1 名減、支出減が約 3,000 万円となっていることについて確認があり、役職の異なる教員が退職、採用されることに伴う給与の差額であることの説明があった。

これらについて審議の結果、原案どおり承認され、予算案を事務組合に提示し、2 月開催の理事会で最終的に承認をいただくよう準備を進めることとなった。

(3) 本学ブランド向上に資する DX 推進の状況と今後の推進計画について

加藤教務・学生支援課長から資料 3 をもとに、2022 年度予算案の内容に関連して、今年度の DX 推進の現状について、教室への授業自動録画システムの導入、総合情報センターの設置、会議のオンライン化等多くの取組を行ったこと、次年度以降についても引き続

き DX の推進を行うこと等説明があった。

これに対して、船木理事および柿澤理事から授業を録画したコンテンツの活用について質問があり、リカレント教育への活用、学生からの評価が高かった授業の教員同士の共有、反転授業への活用等を検討していくとの説明があった。また、河嶋監事から授業録画について、これまでの状況、どのような授業を録画しているか等の質問があり、これまで実施していなかったがコロナ禍でオンライン授業を行うことにより授業録画が可能となったことがきっかけであること、実験等学生同士のコミュニケーションを行う授業は録画していないこと等、説明があった。

(4) 2022 年度学校推薦型選抜実施結果について

加藤教務・学生支援課長から資料 4 をもとに、11 月 27 日、28 日に行われた学校推薦型選抜について、220 名の志願があり 104 名が合格となったこと、昨年に引き続き全国枠の志願者が多いが、地域枠についても一部を除き入学定員を上回る志願者があったこと等報告があった。

(5) 現在の本学新型コロナウイルス感染症対策状況について

牛山理事から標記の件について、後期開始にあたり夏休みに学生が実家に帰省している状況を考慮し 11 月中旬までオンライン授業を実施したこと、現在は約 8 割を対面授業で実施していること、年末年始の帰省に向けて学生に感染防止への注意喚起を行ったこと等報告があった。

以上